

令和6年度

湖北広域行政事務センター

一般廃棄物処理実施計画
(ごみ処理)

目 次

1. 計画の目的	1
2. 計画の範囲	1
3. 計画の実施期間	1
4. 一般廃棄物の発生量見込み	1
5. 一般廃棄物の分別区分	2
(1)センターが収集・処理する一般廃棄物	
(2)事業系可燃ごみの収集・運搬	
(3)センターでは処理できない一般廃棄物	
6. 一般廃棄物の収集運搬計画	5
(1)センターが収集・処理する一般廃棄物の量および収集回数	
(2)収集区域の範囲	
(3)収集の方法	
7. 中間処理計画	7
(1)ごみ焼却処理施設	
(2)資源化施設	
(3)粗大ごみ処理施設	
(4)廃棄物処理法第7条第7項に基づく一般廃棄物処分業許可業者の処理施設	
(5)廃棄物処理法第6条第3項に基づくセンター区域外処理(事業系一般廃棄物)	
8. 最終処分計画	11
(1)最終処分場	
(2)処理委託による最終処分	
9. ごみの発生抑制・再資源化計画	13
(1)再資源化の方法および再資源化量	
(2)減量化・再資源化のための施策	
10. その他	14
(1)一般廃棄物(事業系可燃ごみ)収集運搬業の許可	
(2)一般廃棄物(草木類)処分業の許可	
(3)センターと構成市の業務分担	
(4)休日における処理施設へのごみの搬入	
(5)バイオマス可燃ごみ指定袋の導入	
(6)電池が取り外せない小型電子機器収集方法の追加	
(7)祝休日の可燃ごみ収集の実施	
(8)効率的な施設運営・ごみ処理体制の構築	

1. 計画の目的

本実施計画は、令和6年度に湖北広域行政事務センター(以下「センター」という。)管内から発生する一般廃棄物(ごみ)に関し、減量化、資源化を促進するとともに、その適正な処理を図るため、廃棄物の処理および清掃に関する法律(昭和45年法律第137号。以下「廃棄物処理法」という。)第6条第1項に基づき定めるものである。

2. 計画の範囲

センター規約第4条第1項第1号に定める共同処理事務

3. 計画の実施期間

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

4. 一般廃棄物の発生量見込み

(単位：t/年)

品目		市名			
		長浜市	米原市	合計	
可燃ごみ		24,486	7,591	32,077	
不燃ごみ		2,091	687	2,778	
粗大ごみ		1,903	581	2,484	
資源ごみ	ペットボトル		232	81	313
	ガラスびん	無色	223	68	292
		茶色	211	66	277
		その他有色	89	26	115
	古紙	新聞紙	331	154	485
		ダンボール	604	235	840
		雑誌・チラシ	565	262	827
	紙パック		36	13	49
	空き缶	アルミ缶	59	18	77
		スプレー缶類	104	34	139
	古布(古着)		174	72	246
	発泡スチロール		80	24	104
	プラスチック製容器包装		780	306	1,086
	使用済み乾電池類		36	13	49
	ライター		2	1	3
使用済み蛍光管		8	3	11	

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しない場合がある

5. 一般廃棄物の分別区分

(1) センターが収集・処理する一般廃棄物

種類	排出者		事業所	
	一般家庭	事業所	処理	収集
可燃ごみ (小動物 [ペット] の死骸を含む。)	○	○ (小動物を除く)	○	○ (小動物を除く)
不燃ごみ	○	○	×	×
粗大ごみ(自転車含む)	○	○	○ (可燃性粗大ごみに限る)	×
ペットボトル	× ※1	○	×	×
ガラスびん	○	○	○	×
古紙	× ※1	○	×	×
紙パック	○	○	○	×
空き缶・スプレー缶類	× ※1	○	×	×
古布(古着)	○	○	○	×
発泡スチロール	○	○	○	×
プラスチック製容器包装	○	○	○	×
使用済み乾電池類	○	○	×	×
ライター	○	○	×	×
使用済み蛍光管	○	○	×	×
使用済み小型電子機器	○ (ピックアップ回収・回収ボックス)	○	×	×
羽毛布団	○ (ピックアップ回収)	○	○ (ピックアップ回収)	×

※1 直接再生処理業者に搬入

(2) 事業系可燃ごみの収集・運搬

① 事業所用可燃ごみ指定袋にてセンター委託業者により一般家庭から排出される可燃ごみと併せて収集・運搬を行う。

② 廃棄物処理法第7条第1項および第2項に基づくセンター一般廃棄物収集運搬業許可業者による収集・運搬を行う。(センター一般廃棄物収集運搬業許可業者一覧表を参照)

センター一般廃棄物収集運搬業許可業者一覧表

令和6年4月1日現在

No.	許可業者名	取扱一般廃棄物	許可区域	
			長浜市	米原市
1	(株)エコプラン	事業系可燃ごみ、紙くず、木くず、繊維くず、草	○	○
2	(株)エコン	事業系可燃ごみ、動物の死骸	○	○
3	(株)エスケイカンポスト	事業系可燃ごみ、草、木、藻、竹、根	○	○
4	北川商店(株)	事業系可燃ごみ	○	-
5	(株)木下カンセー	事業系可燃ごみ、食品廃棄物	○	○
6	近畿環境保全(株)	事業系可燃ごみ	○	○
7	(有)国城商店	事業系可燃ごみ	○	○
8	(有)クリーンびわ	事業系可燃ごみ	○	○
9	クリーンワーク(株)	事業系可燃ごみ	○	○
10	興和産業(株)	事業系可燃ごみ	○	-
11	(株)杉本商事	事業系可燃ごみ、食品廃棄物	○	○
12	(株)成功産業	事業系可燃ごみ	○	○
13	(株)高山	草、木、藻、竹(藻については、草等に付着したものに限る。)	○	○
14	(株)中澤商事	事業系可燃ごみ	○	○
15	(有)野一色興業	事業系可燃ごみ	-	○
16	(有)平和産業	事業系可燃ごみ	○	○
		木くず	-	○
17	丸徳産業	事業系可燃ごみ	○	○
18	(有)光田産業	事業系可燃ごみ	○	○
19	(株)美濃ラボ	実験動物の屍体・糞・マット	○	-
20	(株)宗重商店	事業系可燃ごみ	○	-
21	八起産業(株)	事業系可燃ごみ	○	○
22	安田産業(株)	事業系可燃ごみ、食品廃棄物	○	○
23	(有)山口屋	事業系可燃ごみ、紙くず	○	○
24	(有)ヤマダ油脂	事業系可燃ごみ	○	-
25	山室木材工業(株)	木くず	○	○
26	力興木材工業(株)	木くず、草	○	○
27	eco ネット高島	事業系可燃ごみ	○	-

(3)センターでは処理できない一般廃棄物

①有害性のある一般廃棄物

具体例 : 毒物、劇物、農薬、医療品など

処理方法 : 販売店のほか、専門の処理業者に依頼する。

②危険性のある一般廃棄物

具体例 : 注射針など感染のおそれがあるもの

処理方法 : 処方された医療機関などに返却する。

具体例 : 危険防止措置を講じていない刃物、その他鋭利なものなど

処理方法 : 危険防止措置をして排出する。

③爆発性、発火性または引火性のある一般廃棄物

具体例 : ガスボンベ、シンナー、塗料、ガソリン、軽油、灯油、機械油などの油脂類

処理方法 : 販売店のほか、専門の処理業者に依頼する。

④著しく悪臭を発する一般廃棄物(し尿としてくみ取るものを除く。)

処理方法 : 専門の処理業者に依頼する。

⑤特定家庭用機器廃棄物

具体例 : エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機

処理方法 : 引き取り義務のある販売店または家電リサイクル協力店に依頼する。

郵便局で「家電リサイクル券」を購入のうえ、自ら指定引取場所、またはクリーンプラント・伊香クリーンプラザに持ち込む。

⑥指定再資源化製品

具体例 : デスクトップおよびノートパソコン、パソコン用ディスプレイ

処理方法 : 製造業者などに依頼する。

一般社団法人パソコン3R推進協会に依頼する。

使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律の認定事業者であるリネットジャパンリサイクル株式会社の宅配便による使用済みパソコン・小型家電回収サービスを利用する

⑦一般廃棄物の処理を著しく困難にし、またはセンターの処理施設の機能に支障を生じさせるおそれがあると認める一般廃棄物

具体例 : タイヤ、タイヤホイール、自動車などのバッテリー、電気温水器、浴槽、便槽、耐火金庫、ポンプ類、ワイヤー類、バイク、ピアノ、消火器、舟艇類など

処理方法 : 販売店ほか、専門の処理業者に依頼する。

6. 一般廃棄物の収集運搬計画

(1) センターが収集・処理する一般廃棄物の量および収集回数

品目	センターによる収集運搬			許可業者による収集運搬	排出者による運搬	合計
	収集回数	量(t/年)		量(t/年)	量(t/年)	
		委託	直営			
可燃ごみ	週2回 ※1	20,003		9,446	2,628	32,077
不燃ごみ	月1回	1,833			945	2,778
粗大ごみ	年2回 ※2	742	86		1,656	2,484
資源ごみ	ペットボトル	月2回	313			313
	無色ガラスびん	月2回	292			292
	茶色ガラスびん	月2回	277			277
	その他有色ガラスびん	月2回	115			115
	新聞紙	月2回	485			485
	ダンボール	月2回	840			840
	雑誌・チラシ	月2回	827			827
	紙パック	月2回	49			49
	空き缶・スプレー缶類	月2回	215			215
	古布	月2回	246			246
	発泡スチロール	月2回	104			104
	プラスチック製容器包装	月2回	1,086			1,086
	使用済み乾電池類	月2回	49			49
	ライター	月2回	3			3
使用済み蛍光管	年2回	11			11	
合計		27,490	86	9,446	5,229	42,252

※1 年末年始除く

※2 粗大ごみ戸別収集の収集回数は随時

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しない場合がある

(2) 収集区域の範囲

長浜市および米原市の全域

(3)収集の方法

種 類		収集方式	収集形態	収集運搬実施主体・収集区域
可燃ごみ	家庭系・事業系の一部	ステーション方式	委託	(株)ライフリリーフ : 山東、米原、近江、伊吹(一部)地域 (有)豊田商店 : 長浜(一部)、びわ(一部)、伊吹(一部)地域 (株)テックアシスト : 長浜(一部)、びわ(一部)地域 (有)新井商会 : 浅井、虎姫、湖北、びわ(一部)、高月地域 湖北清掃事業協同組合 : 木之本、余呉、西浅井地域
	事業系	戸別収集	許可	一般廃棄物収集運搬業許可業者 : 全域
不燃ごみ		ステーション方式	委託	(株)ライフリリーフ : 山東、米原、近江、びわ地域 (有)豊田商店 : 長浜、伊吹地域 (株)テックアシスト : 湖北地域 (有)新井商会 : 浅井、虎姫、高月地域 湖北清掃事業協同組合 : 木之本、余呉、西浅井地域
粗大ごみ		ステーション方式	委託	湖北環境協同組合 : 全域
		戸別収集	直営	全域
ペットボトル		ステーション方式	委託	(株)ハウステクノ関ヶ原 : 全域(木之本、余呉、西浅井地域を除く) 湖北清掃事業協同組合 : 木之本、余呉、西浅井地域
ガラスびん (無色・茶色・その他有色)		ステーション方式	委託	(株)テックアシスト : 全域(木之本、余呉、西浅井地域を除く) 湖北清掃事業協同組合 : 木之本、余呉、西浅井地域
古紙(新聞紙)		ステーション方式	委託	(株)ライフリリーフ : 全域(木之本、余呉、西浅井地域を除く) 湖北清掃事業協同組合 : 木之本、余呉、西浅井地域
古紙(ダンボール)		ステーション方式	委託	橋本クリーン産業(株) : 全域(木之本、余呉、西浅井地域を除く) 湖北清掃事業協同組合 : 木之本、余呉、西浅井地域
古紙(雑誌・チラシ)		ステーション方式	委託	橋本クリーン産業(株) : 全域(木之本、余呉、西浅井地域を除く) 湖北清掃事業協同組合 : 木之本、余呉、西浅井地域
紙パック		ステーション方式	委託	(株)ライフリリーフ : 全域(木之本、余呉、西浅井地域を除く) 湖北清掃事業協同組合 : 木之本、余呉、西浅井地域
空き缶・スプレー缶類		ステーション方式	委託	(株)ハウステクノ関ヶ原 : 全域(木之本、余呉、西浅井地域を除く) 湖北清掃事業協同組合 : 木之本、余呉、西浅井地域
古 布		ステーション方式	委託	橋本クリーン産業(株) : 全域(木之本、余呉、西浅井地域を除く) 湖北清掃事業協同組合 : 木之本、余呉、西浅井地域
発泡スチロール		ステーション方式	委託	(株)ライフリリーフ : 全域(木之本、余呉、西浅井地域を除く) 湖北清掃事業協同組合 : 木之本、余呉、西浅井地域
プラスチック製 容器包装		ステーション方式	委託	(株)ライフリリーフ : 山東、米原、近江、びわ地域 (有)豊田商店 : 長浜、伊吹地域 (株)テックアシスト : 湖北地域 (有)新井商会 : 浅井、虎姫、高月地域 湖北清掃事業協同組合 : 木之本、余呉、西浅井地域
使用済み乾電池類		ステーション方式	委託	(株)ライフリリーフ : 全域(木之本、余呉、西浅井地域を除く) 湖北清掃事業協同組合 : 木之本、余呉、西浅井地域
ライター		ステーション方式	委託	(株)ライフリリーフ : 全域(木之本、余呉、西浅井地域を除く) 湖北清掃事業協同組合 : 木之本、余呉、西浅井地域
使用済み蛍光管		ステーション方式	委託	湖北環境協同組合 : 全域

7. 中間処理計画

(1)ごみ焼却処理施設

①クリスタルプラザ

施設の名称	湖北広域行政事務センター クリスタルプラザ ごみ焼却処理施設
所在地	長浜市八幡中山町 200
敷地面積	約 14,440.5 m ²
処理方式	全連続燃焼式ストーカ方式
公称能力	3.5 t / h × 2 炉

搬入される一般廃棄物の内訳量

種類	搬入者	搬入量(t/年)	処理方法
可燃ごみ	収集委託業者	20,003	焼却処理。 残渣は大阪湾広域臨海環境 整備センターで埋立
	許可業者	9,446	
	直接搬入(事業所)	1,113	
	直接搬入(家庭)	1,096	
	直接搬入(公用)	418	
粗大ごみ	収集委託業者	153	
	直営	8	
	直接搬入(家庭)	391	
	直接搬入(公用)	58	
選別可燃ごみ		3,029	
合計		35,718	

※り災により搬入される廃棄物については、公用に含む。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しない場合がある

(2)資源化施設

①クリスタルプラザ リサイクルプラザ選別棟

施設の名称	湖北広域行政事務センター クリスタルプラザ リサイクルプラザ選別棟
所在地	長浜市八幡中山町 200
処理方式	プラスチック製容器包装の圧縮梱包 発泡スチロールの溶融固化
処理能力	プラスチック製容器包装圧縮形成(1 t / h) 発泡スチロール(80kg/h × 2 台)
保管	ガラスびん(無色・茶色・その他有色)、紙パック、古布、プラスチック製容器包装、発泡スチロール
一時保管	空き缶、ペットボトル、ライター、使用済み乾電池類、使用済み蛍光管

搬入される一般廃棄物の種類別の内訳

種	類	搬入量 (t/年)	処 理 方 法
ガラスびん	無色びん	266	再生処理業者に売却する。
	茶色びん	250	
	その他有色びん	104	
紙パック		49	再生処理業者に売却する。
古布(古着)		246	
プラスチック製容器包装		1086	選別・圧縮梱包し、容器包装リサイクル法の規定による指定法人に引き渡す。不適物などは焼却処理する。
発泡スチロール		104	選別・圧縮固化し、再生処理業者に売却する。不適物などは焼却処理する。
合計		2105	

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しない場合がある

②伊香クリーンプラザ リサイクルプラザ

施設の名称	湖北広域行政事務センター 伊香クリーンプラザ リサイクルプラザ
所在地	長浜市西浅井町沓掛 1313-1
保管	ガラスびん(無色、茶色、その他有色)
一時保管	紙パック、古布、プラスチック製容器包装、発泡スチロール、空き缶、ペットボトル、ライター、使用済み乾電池類、使用済み蛍光管

搬入される一般廃棄物の種類別の内訳

種	類	搬入量 (t/年)	処 理 方 法
ガラスびん	無色びん	26	再生処理業者に売却する。
	茶色びん	27	
	その他有色びん	11	
合計		63	

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しない場合がある

(3)粗大ごみ処理施設

①クリーンプラント

施設の名称	湖北広域行政事務センター クリーンプラント 粗大ごみ処理施設
所在地	長浜市大依町 1337
敷地面積	3,300 m ²
処理方式	不燃性粗大ごみ、不燃ごみを併せて破砕する併用施設
破砕機型式	回転せん断衝撃式
公称能力	40 t / 5 h
保管	使用済み乾電池類、使用済み蛍光管、ライター

搬入される一般廃棄物の内訳

種 類	搬入主体	搬入量(t/年)	処 理 方 法
不燃ごみ	収集委託業者	1833	破砕処理後、機械選別された鉄屑・アルミ屑は再生処理業者に売却。可燃物はクリスタルプラザで焼却処理。不燃物はウイングプラザ・余呉一般廃棄物最終処分場に埋立処理。 自転車は直接再生処理業者に売却。
	直接搬入(家庭)	627	
	直接搬入(公用)	318	
粗大ごみ	収集委託業者	589	破砕処理後、機械選別された鉄屑・アルミ屑は再生処理業者に売却。可燃物はクリスタルプラザで焼却処理。不燃物はウイングプラザ・余呉一般廃棄物最終処分場に埋立処理。 自転車は直接再生処理業者に売却。
	直営	78	
	直接搬入(家庭)	1064	
	直接搬入(公用)	142	
資源ごみ	使用済み乾電池類	49	専門処理業者に引き渡し
	ライター	3	専門処理後、破砕処理
	使用済み蛍光管	11	専門処理業者に引き渡し
合計		4714	

※り災により搬入される廃棄物については、公用に含む

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しない場合がある

(4)廃棄物処理法第7条第7項に基づく一般廃棄物処分業許可業者の処理施設

①山室木材工業(株)

施設の名称	①山室木材工業(株)リサイクルセンター本社工場 ②リサイクルセンター第2工場
所在地	①米原市大野木 1801 番地 1 ②米原市大野木 2168
処理施設の種類	破砕処理
処理方式	草、木くずの破砕処理
公称能力	①288 t / 日、446 t / 日 ②240 t / 日
取り扱う廃棄物の種類	草、木くず

②(株)エスケイカンポスト

施設の名称	(株)エスケイカンポスト
所在地	長浜市泉町 1370
処理施設の種類	①高速堆肥化処理施設 ②破砕処理施設
処理方式	①高速堆肥化処理 ②破砕処理
公称能力	①9.55 t / 日(高速堆肥化処理) ②120 t / 日(破砕処理)
取り扱う廃棄物の種類	①草、木、藻、竹 ②木、竹、根

③ (株)高山

施設の名称	(株)高山
所在地	長浜市高月町落川 461-1
処理施設の種類	破砕処理施設
処理方式	破砕処理
公称能力	4.464 t / 日
取り扱う廃棄物の種類	草、木、藻、竹(藻については、草等に付着したものに限り)

④力興木材工業(株)

施設の名称	力興木材工業(株)
所在地	米原市春照 125
処理施設の種類	破砕処理施設
処理方式	①木くずの破砕処理 ②草の破砕処理
公称能力	①62.4 t / 日 × 2 基 ②3.2 t / 日
取り扱う廃棄物の種類	①木くず ②草

⑤(株)エコプラン

施設の名称	(株)エコプラン RPF 虎姫工場
所在地	長浜市田町 14 番地
処理施設の種類	圧縮固化施設
処理方式	紙くず、木くず、繊維くず、草の圧縮固化
公称能力	78.72 t / 日
取り扱う廃棄物の種類	紙くず、木くず、繊維くず、草

(5)廃棄物処理法第 6 条第 3 項に基づくセンター区域外処理(事業系一般廃棄物)

①事業所から発生する一般廃棄物(食品廃棄物)の堆肥化处理

施設の名称	株式会社水口テクノス リサイクルセンター
所在地	甲賀市水口町松尾 362-28
搬入量	162.6 t / 年

②事業所から発生する一般廃棄物(食品廃棄物)の飼料化处理

施設の名称	京都有機質資源株式会社
所在地	京都府長岡京市神足落述 1
搬入量	105.84 t / 年

③事業所から発生する一般廃棄物(食品廃棄物)の飼料化処理

施設の名称	株式会社橋本 関工場
所在地	岐阜県関市尾太町 41
搬入量	37.2 t / 年

④研究機関などから排出される一般廃棄物(実験動物)の焼却処理

施設の名称	株式会社美濃ラボ
所在地	岐阜県海津市平田町今尾 1195-1
搬入量	3.9 t / 年

8. 最終処分計画

(1)最終処分場

①ウイングプラザ

施設の名称	湖北広域行政事務センター ウイングプラザ	
所在地	米原市番場 2654 番地 1	
敷地面積	43,450 m ²	
埋立面積	14,700 m ²	
全体容量	97,000 m ³	
残余容量	82,964 m ³ (R5.11.22 現在)	
浸出液処理	処理能力	70 m ³ / 日
施設	処理方式	生物処理方式+高度処理(凝集沈殿・砂ろ過)
埋立方法	サンドイッチ方式(全面遮水シート張)	

搬入される廃棄物の内訳および年間埋立容量(t/年)

直接埋立ごみ(一般・公用)	393
粗大ごみ処理施設残渣 不燃物	670
合計	1063

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しない場合がある

②余呉一般廃棄物最終処分場

施設の名称	湖北広域行政事務センター 余呉一般廃棄物最終処分場	
所在地	長浜市余呉町中河内 897	
敷地面積	69,406 m ²	
埋立面積	6,800 m ²	
全体容量	35,800 m ³	
残余容量	11,669 m ³ (R5.11.8 現在)	
浸出液処理施設	処理能力	50 m ³ / 日
	処理方式	生物処理(接触酸化)方式+高度処理(凝集沈殿・砂ろ過)
埋立方法	サンドイッチ方式(全面遮水シート張)	

搬入される廃棄物の内訳および年間埋立容量(t/年)

直接埋立ごみ(一般・公用)		29
粗大ごみ処理施設残渣	不燃物	115

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しない場合がある

(2)処理委託による最終処分

①クリスタルプラザ焼却残渣

処理委託先	大阪湾広域臨海環境整備センター 大阪市北区中之島二丁目 2-2	
焼却残渣の搬出先	尼崎基地 兵庫県尼崎市平左衛門町 70 番地	
廃棄物の量(t/年)	主 灰	2056
	ばいじん処理物	2099

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しない場合がある

②使用済み乾電池類

処理委託先	野村興産(株) 東京都中央区日本橋堀留町 2-1-3	
最終処分場	野村興産(株)イトムカ鉱業所 北海道常呂郡留辺蘂町字富士見 217- 1	
廃棄物の量(t/年)	36	

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しない場合がある

③使用済み蛍光管

処理委託先	野村興産(株) 東京都中央区日本橋堀留町 2-1-3	
処理施設の名称 および所在地	第 1 中間処理	野村興産(株)関西工場 大阪市西淀川区川中島二丁目 4-143
	第 2 中間処理 および最終処分	野村興産(株)イトムカ鉱業所 北海道常呂郡留辺蘂町字富士見 217-1
廃棄物の量(t/年)	10	

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しない場合がある

9. ごみの発生抑制・再資源化計画

(1)再資源化の方法および再資源化量

種類		再資源化方法	量(t/年)
ペットボトル		再生処理業者に売却する。	313
ガラスびん	無色	クリスタルプラザ・伊香クリーンプラザに一定期間保管後、再生処理業者に売却する。	298
	茶色	クリスタルプラザ・伊香クリーンプラザに一定期間保管後、再生処理業者に売却する。	275
	その他有色	クリスタルプラザ・伊香クリーンプラザに一定期間保管後、再生処理業者に売却する。	116
古紙	新聞紙	再生処理業者に売却する。	485
	ダンボール	再生処理業者に売却する。	840
	雑誌・チラシ	再生処理業者に売却する。	827
紙パック		クリスタルプラザに一定期間保管後、再生処理業者に売却する。	44
空き缶・スプレー缶類	アルミ缶	再生処理業者に売却する。	77
	スチール缶	再生処理業者に売却する。	139
古布		クリスタルプラザに一定期間保管後、再生処理業者に売却する。	240
発泡スチロール		クリスタルプラザで減容固化し再生処理業者に売却する	33
プラスチック製容器包装		クリスタルプラザで圧縮梱包し、容器包装に係る分別収集および再商品化の促進などに関する法律(平成7年法律第112号)の規定による指定法人に引き渡す。	877
使用済み乾電池類		クリーンプラントで一定期間保管後、再生処理業者に処理委託する。	36
使用済み蛍光管		クリーンプラントで一定期間保管後、再生処理業者に処理委託する。	10
使用済み小型電子機器など		小型家電リサイクル法で認定された事業者に引き渡す。	1
自転車		再生処理業者に売却する。	53
粗大ごみ処理施設での資源の機械選別	鉄屑	再生処理業者に売却する。	696
	アルミ屑		38
直接持込鉄屑		再生処理業者に売却する。	53
木製家具類		再生処理業者に売却または処理委託する。	60
羽毛布団		クリスタルプラザに一定期間保管後、再生処理業者に売却する。	2
落じん灰		クリスタルプラザに一定期間保管後、資源回収業者に売却する。	79

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しない場合がある

(2)減量化・再資源化のための施策

- ・センター広報「湖北広域だより」を発行し、食品ロス削減、生ごみの水切りなどのごみ減量化を啓発する。
- ・ホームページやごみ分別アプリを活用し、減量方法やリサイクル方法の情報発信を行う。
- ・小学生などを対象とした施設見学や出前講座を行う。
- ・搬入時のチェックを徹底し、管外から発生した廃棄物の混入や資源物が可燃ごみ・不燃ごみとして搬入されることを防ぐ。

10. その他

(1)一般廃棄物(事業系可燃ごみ)収集運搬業の許可

現体制で収集運搬業務を支障なく遂行できており、また、今後予想されるセンター管内の事業系可燃ごみを収集し得る能力を有していることから、令和6年度は新規許可を認めないものとする。

ただし、許可業者が個人から法人になった場合はこの限りではない。

(2)一般廃棄物（可燃ごみ）処分業の許可

センター管内で発生する一般廃棄物の草木類の処理については、現体制で処分業務を支障なく遂行できており、今後予想されるセンター管内の草木類を処分し得る能力を有していることから、令和6年度は新規許可を認めないものとする。

その他の一般廃棄物の処分については、当該一般廃棄物の処理がセンターの処理施設で困難である場合ははじめ、廃棄物処理法第7条第10項に適合していると認められる場合のみ新規許可を認めるものとする。

(3)センターと構成市の業務分担

ごみ処理におけるセンターと構成市の業務分担については、ステーションの維持管理やごみが出され収集されるまでの業務(発生抑制、適正分別、市民啓発等)を構成市が行い、ステーションからの収集・運搬、処分についてはセンターが担う。

(4)休日における処理施設へのごみの搬入

クリスタルプラザ、クリーンプラントおよび伊香クリーンプラザで毎月1回第4日曜日に直接搬入の受入れを行う。また、周辺道路の混雑緩和のため、クリーンプラントにおいて、事前予約制度を行う。(第4日曜日以外の休日に変更して受入れをおこなう場合は、構成市の広報やセンターホームページで住民に周知する。)

(5)バイオマス不燃ごみ指定袋の導入

令和5年度から可燃ごみ指定袋、紙おむつ類専用指定袋、事業所用可燃ごみ指定袋にバイオマスプラスチックを導入していたが、令和6年度からは不燃ごみ指定袋にもバイオマスプラスチックを導入し、作成時の石油使用量および焼却時の温室効果ガスの排出量削減を図る。

(6)電池が取り外せない小型電子機器収集方法の追加

これまで不燃ごみとして案内していたスマートフォンや電動歯ブラシ、電気シェーバーなど充電電池が取り外せない小型電子機器を資源ごみ（使用済み乾電池類）でも出せるように変更し、車両、処理施設の火災事故防止を図る。

(7)祝休日の可燃ごみ収集の実施

令和6年度から年末年始（12月31日～1月3日）を除き、可燃ごみ収集日が祝休日と重なった場合も可燃ごみ収集を実施し、収集日の不均衡の是正及び住民サービスの向上を図る。

(8)効率的な施設運営・ごみ処理体制の構築

効率的な施設運営・ごみ処理体制づくりを目指すため、法令に基づく施設の維持管理、経済的な運転管理に努めるとともに、近隣自治体などの動向も踏まえながら調査研究を行う。